



俳句ゆめクラブ会報

2023年5月23日

第 155 号

互 選

今回は伊奈薔薇園に吟行の予定だったが雨の一日と
の天気予報で急遽通常の句会に変更となった、気温も
昨日迄とは激変の急降下で3月の寒さとか、慌てて着
るものを出す有様だった。

それでも木々の新芽はしっかりと緑葉に成長し
て来ていて確実な季節の移り変わりを感じる、暫くし
たら梅雨が始まるだろうしその後には又暑い夏が来る、
せめても身体と心をびしょとして行こう。

兼題は無しで自由題とした句会であった。

〔句会〕県活202号セミナー室

13時〜14時30分

梅田先生の句

日かがやき風のががやき白薔薇
さまざまな法被行き交ひ三社祭
天上を礼賛泰山木の花

梅田先生選

《特選》
どくだみのはびこりはびこり花灯す
若竹の昨日を越して今日の丈
大粒の雨の一撃薔薇死せり
住む人の無き大庭や琵琶熟るる
たかんなの雄姿一本残りたる

吉野利美子
小林健一郎
瀬戸川公子
宮島昭夫
吉野利美子

五月場所声出し応援力士燃え
尋ねれば箱根空木の花と言ふ
雨間の水面にすいとあめんぼう
時計草遊び盛りが帰らない
氏神は通りの左手青時雨
かはせみの幻のごと消えゆけり
見晴るかす一直線に畔青む
万緑に抱かれ古刹閑散と

《入選》

青空に舞ふが如くに山法師
いや高き見晴らし台や風薫る
山椒の棘とたたかひ葉を摘めり
ピロードのやうな花びら薔薇真紅
歳時記を惑わす天気五月尽
家々の色づく紫陽花朝日差す
参道の奥へ奥へと木下闇
快晴や色香溢るる薔薇の園
つばくらめまた来る農の底かな
吟行の中止を惜しむ万の薔薇
齒検診軒の子燕いつ飛ぶや
濃き淡き色さまざま新樹かな
えごの花香りほのかに喫茶店
薄暑光瀬に釣り人の動かざる

長澤輝子
吉野利美子
岩松忠子
岡田時雄
岩松忠子
小林健一郎
長澤輝子
八千代幸男
宮島昭夫
八千代幸男
瀬戸川公子
小林健一郎
岡田時雄
岩松忠子
浅見法子
八千代幸男
浅見法子
岡田時雄
宮島昭夫
瀬戸川公子
長澤輝子
浅見法子

たかんなの雄姿一本残りをり (3票) 吉野利美子
五月場所声出し応援力士燃へ (5票) 長澤輝子
さまざまな法被行き交ひ三社祭 (4票) 梅田ひろし
つばくらめ住み継ぐ農の底かな (3票) 浅見法子
天上を礼賛泰山木の花 (3票) 梅田ひろし
時計草遊び盛りが帰らない (3票) 岡田時雄
夏に入る瀬に釣り人の動かざる (3票) 浅見法子

〔決定事項・連絡事項〕

・次回句会 6月23日(火)

県活・202号室(13時より)

(当番: 岩松、鈴木)

兼題 「冷奴」

・県活で同クラスだった相場氏が来場、お菓子とお茶
を皆に渡してくれて句会を参観した。

・今回は10名出席

(欠席: 鈴木)

(小林健一郎記)

